

各 位

会 社 名 株式会社 技 研 製 作 所
代 表 者 名 代表取締役社長 北村 精男
(コード： 6289 大証第2部)
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 田中 孝明
(T E L . 088-846-2933)

(訂正) 「平成21年8月期 決算短信」の一部訂正について

平成21年10月14日に発表しました「平成21年8月期 決算短信」の記載内容に、一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。訂正箇所は_____を付して表示しております。

なお、数値データについては、訂正はありません。

記

1. 経営成績 (3 ページ)

(1) 経営成績に関する分析

【訂正前】

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

機械販売は好調でしたが、機械販売、圧入工事ともに原価率が上がったため、売上高は10,209百万円（前期比2.1%増）、営業利益1,375百万円（前期比12.1%減）となりました。

②その他の地域（欧州、アジア、北米）

その他の地域は、クラッシュパイラーによる硬質地盤クリア工法が、イギリス、シンガポール、カナダの大型工事で採用になり、イギリスでは工事が順調に進行しておりますが、一般的な工事の減少並びに全体的な機械販売の落ち込みにより、売上高は1,529百万円（前期比44.5%減）、営業損失167百万円（前連結会計年度は10百万円の損失）となりました。

【訂正後】

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

機械販売は好調でしたが、機械販売、圧入工事ともに原価率が上がったため、売上高は10,209百万円（前期比2.1%増）、営業利益1,375百万円（前期比12.1%減）となりました。

②欧州

欧州は、これまで圧入工事をメインとしておりましたが、海外での機械販売を本格的に強化するビジネスモデルの転換期にあたり、売上高は835百万円（前期比49.0%減）、営業損失137百万円（前連結会計年度は215百万円の損失）となりました。

③その他の地域（アジア、北米）

その他の地域は、クラッシュパイラーによる硬質地盤クリア工法が、シンガポール、カナダの大型工事で採用になっておりますが、一般的な工事の減少並びに全体的な機械販売の落ち込みにより、売上高は694百万円（前期比37.9%減）、営業損失30百万円（前連結会計年度は204百万円の利益）となりました。

b. 所在地別セグメント情報

【訂正前】

当連結会計年度 (自 平成 20 年 9 月 1 日 至 平成 21 年 8 月 31 日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業利益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	10,209,653	<u>1,529,739</u>	11,739,392	—	11,739,392
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	427,957	<u>470,906</u>	898,863	(898,863)	—
計	10,637,610	<u>2,000,645</u>	12,638,256	(898,863)	11,739,392
営業費用	9,262,515	<u>2,168,335</u>	11,430,850	(943,972)	10,486,878
営業利益 (又は営業損失)	1,375,095	<u>△167,689</u>	1,207,405	45,108	1,252,514
II 資産	<u>15,418,038</u>	<u>1,376,435</u>	<u>16,794,474</u>	<u>(121,744)</u>	<u>16,672,729</u>

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

その他の地域：欧州、アジア、北米

3. なお、前連結会計年度まで独立掲記しておりました「欧州」の売上高は、当連結会計年度において全セグメントの売上高の合計の10%未満となったため、「その他」に含めて表示しております。当連結会計年度の「欧州」の外部顧客に対する売上高は835,174千円、営業費用は1,407,351千円、営業損失は137,424千円であります。

4. 「追加情報」に記載のとおり、当連結会計年度より、有形固定資産の一部について耐用年数を変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当連結会計年度の営業利益が「日本」で45,917千円増加しております。なお、他のセグメントに与える影響はありません。

5. 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載のとおり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、当連結会計年度の「日本」の営業利益が15,009千円減少しております。なお、他のセグメントに与える影響はありません。

6. 「消去又は全社」の項目に含めた金額及び主な内容は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)	主な内容
消去又は全社の項目に 含めた全社資産の金額	2,184,850	2,002,710	余資運用資金（現預金及び有価証券）、 長期投資資金（投資有価証券等）及び連 結財務諸表提出会社の管理部門に係る資 産等であります。

【訂正後】

当連結会計年度 (自 平成 20 年 9 月 1 日 至 平成 21 年 8 月 31 日)

	日本 (千円)	欧州 (千円)	その他の 地域 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業利益						
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	10,209,653	<u>835,174</u>	<u>694,564</u>	11,739,392	—	11,739,392
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	427,957	<u>434,752</u>	<u>36,154</u>	898,863	(898,863)	—
計	10,637,610	<u>1,269,926</u>	<u>730,718</u>	12,638,256	(898,863)	11,739,392
営業費用	9,262,515	<u>1,407,351</u>	<u>760,984</u>	11,430,850	(943,972)	10,486,878
営業利益 (又は営業損失)	1,375,095	<u>△137,424</u>	<u>△30,265</u>	1,207,405	45,108	1,252,514
II 資産	<u>17,227,958</u>	<u>445,262</u>	<u>987,058</u>	<u>18,660,279</u>	<u>954,044</u>	<u>19,614,324</u>

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

欧州：イギリス、オランダ、ドイツ

その他の地域：アジア、北米

3. 「追加情報」に記載のとおり、当連結会計年度より、有形固定資産の一部について耐用年数を変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当連結会計年度の営業利益が「日本」で45,917千円増加しております。なお、他のセグメントに与える影響はありません。

4. 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載のとおり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、当連結会計年度の「日本」の営業利益が15,009千円減少しております。なお、他のセグメントに与える影響はありません。

5. 「消去又は全社」の項目に含めた金額及び主な内容は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)	主な内容
消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額	2,184,850	2,002,710	余資運用資金（現預金及び有価証券）、長期投資資金（投資有価証券等）及び連結財務諸表提出会社の管理部門に係る資産等であります。

以上